

『これまでを振り返って』

「楽しく」をモットーに

板橋区スポーツ推進委員協議会
会長 三枝節夫

スポーツ推進委員になって十八年、この間多くの先輩方や同輩、後輩たちと知り合えたこと、そして一緒に活動できたことを誇りに思います。

私がスポーツ推進委員（旧体育指導委員）に任命された年には荒川市民マラソン（現板橋 City マラソン）が始まり、またドッジボール大会では公式ルールが採用されるようになりました。翌年には我々スポーツ推進委員が考案した「ふるさといたばし体操」も完成し、今振り返ってみると当時はスポーツ推進委員の活動内容が大きく変化したように思います。その後この広報紙も平成 13 年度第 70 号から「いたスポ」とロゴを改定し、最近ではカラーでの発行もするようになりました。

さて、2020 年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。板橋区でもスポーツ推進委員のビジョンが策定され、我々スポーツ推進委員も多方面での活躍が期待されるようになります。今限りで私は退任しますが、これからも自分たちが「楽しく活動すること」をモットーに、スポーツ推進委員の皆さんで協力しながら活躍していってほしいと思います。



2016 板橋 City マラソン

3月20日(日)

区内最大のイベントに、今年も1万9千人を超えるランナーが、早春の荒川河川敷を疾走、激走して果敢にチャレンジしました。

恒例のふるさといたばし体操の後、準備を整えてスタートを待ちます。気温は高めでしたが、北寄りの風がやや強く、ランナーやスタッフを悩ませました。

午前9時に坂本区長の号砲で、ランナーは応援ゲストの土佐礼子さんとハイタッチをしながらスタートしました。東京スカイツリーを眺めながら、荒川大橋で折り返します。途中には、SOSに備えて、医師・看護師他の待機する救護所が設けられています。制限時間は7時間、それぞれのペースで必死に完走を目指します。

メイン会場では、土佐さんのトークショーをはじめ、協賛会社のブース・飲食物・特産品の販売など盛り沢山で応援の人も楽しめました。来年は第20回記念大会となります。どんなサプライズが飛び出すかご期待ください。



42.195km のドラマがはじまる！



春の光をいっぱい浴びてファイト！

東京都地域スポーツ支援研修会

1月23日(土) 高輪区民センター

障がい者スポーツを取り巻く環境が大きく変化する中、障がい者スポーツに取り組むための施策や体制等は必ずしも十分ではないようです。そうしたことから障がい等を問わず、広く人々がスポーツに参画できる環境の整備・体制づくりについて学ぶ機会として開催されました。トークセッションでは、都内6ブロックから代表者が登壇し、「障がい者スポーツの取組み事例」についての発表が行われました。第4ブロックからは、板橋区の取り組みについて三枝節夫会長から、「毎年秋に行われている障がい者スポーツ大会も36回を数え、スポーツ推進委員も競技に関して企画、運営に積極的に携わってきました」と紹介がありました。

東京都地域スポーツ支援研修会



発表する三枝会長

東京マラソン2016

2月28日(日)

第10回の記念大会となる今回は、大会ロゴのリニューアルや、今大会限定で定員を千人増加させ、リオ五輪の男子マラソン代表選手選考会を兼ねるなど、まさに「東京がひとつになる日。」に間違いはない素晴らしい大会でした。晴天の下、都庁前をスタート。皇居や浅草雷門、そしてゴールの東京ビッグサイトと世界各国から3万7千人のランナーが疾走し、首都東京はこの日熱く盛り上がっていました。

我々板橋区のスポーツ推進委員も飯田橋一丁目交差点周辺でコース整理員として白熱のレースをサポートした事を誇りに、これからもITABASHI HIからTOKYOそしてJAPANへとスポーツ熱をヒートアップさせていきたいと思えます。



レース前、静かな緊張感で張り詰めた首都東京



板橋区スポーツ推進委員の1人もランナーとして東京マラソンに出走しました

板橋区スポーツ大使

加藤ゆかさん講演

3月3日(木) グリーンホール

現在、板橋区のスポーツ大使で、ロンドンオリンピックの競泳メドレーリレーで銅メダルを獲得された加藤ゆかさんの講演がグリーンホールで開催されました。オリンピックメダリストが自身の経験談を熱く語り、途中スライドやビデオ上映もあり、各スポーツ推進委員が真剣に聞き入っていました。

生後間もなくベビースイミングで水泳デビュー、小6の時バタフライで全国大会優勝、当時よりオリンピックに出る事を夢にしていたそうです。中学一高校では伸び悩みの時期もあったそうですが、大学に進学しコーチと出会い、北京オリンピックに出場するも結果を出せずに悔しさが残りました。就職後は新コーチとの出会いもあり「オリンピックの借りはオリンピックで返す」の言葉を胸に頑張り、ロンドンオリンピックで銅メダルを獲得されました。

2013年の東京国体を最後に引退されましたが、ここまでコーチ、仲間と家族が大事な存在であったそうです。

よく講演の機会があり、①大きな夢を持つ ②目標設定をする ③感謝の気持ちを忘れない という話を聞かせるそうです。30分ほどの時間でしたが、オリンピックメダリストの貴重な話を聞いて、大盛況で終了しました。



NPO 法人志村スポーツクラブ・プリムラ
理事長 浅見宗弘

プリムラ危機管理講習会 1月23日 中台地域センター

恒例の危機管理講習会を1月23日に中台地域センターで行いました。スポーツ関係者だけでなく、青健、PTA、町会、行政の方々30名が受講されました。

地域活動には区が保険をかけているから大丈夫という、誤った認識を持った方も多く、責任の重さを知り、多くの質問がありました。講師の樽本弁護士は、安全を確保する手段や心構え等、事例をもとに講習を進めました。安全が第一という認識をみんなで持って今後の活動に生かしたいと思えます。

卓球教室 2月7日 若木小学校体育館

2月7日は第11回目の卓球教室を行い、劉ティンティン講師のもと、40名が真剣に汗を流しました。プリムラの特徴である世代を超えたスポーツという事もあり、高齢者、中学生、社会人と多彩な顔ぶれです。最後には講師の本気サーブを全員に体験してもらい、卓球の楽しさと奥深さを感じ取っていただいた1日でした。

